

色による危険箇所の明示

現場内には多くの危険が存在し、各現場で事故が発生しないよう多くの対策がなされている。当現場では対策の一つとして、普段現場で良く使用されている資材の“色”を変えることで、危険箇所の明示を行っている。

どんなところで？



①【プラフェンスの色を黄色に！】



夜間作業時、軌道を横断して立坑脇に資材運搬を行います。
↑夜間作業の場合、照明を設置していても、やはり見づらい。



緑プラフェンスから黄色プラフェンスにしたことで、開口部の位置が把握しやすくなり、以前より運転しやすくなったの音が、
※黄色を使用したことで“開口部”という危険箇所の明示だけでなく、夜間作業時に目立つという役割も発揮！

②【退避場所の支柱を黄色に！】



軌道内から退避する場所の支柱を黄色にすることで、目立つように！

※退避場所を色で明示するだけでなく内側に掲示も行うことで、退避場所横を通って資材を運搬する際など、軌道内に資材を落として入れないように、慎重にさせる効果も！

↑退避場所は、いつでも退避出来るよう、常に開口となっている！



掲示もすることで分かりやすく！

色による危険箇所の見える化

現場内には多くの危険が存在し、各現場で事故が発生しないよう多くの対策がなされている。当現場では対策の一つとして、普段現場で良く使用されている資材の“色”を変えることで、危険箇所の明示を行っている。

色を見て危険・安全と認識！



①【プラスチックフェンスを黄色に！】



立坑の飛来落下防止に黄色のプラスチックフェンスを採用することで、黄色→危険箇所（開口部）とパッと見ただけで意識をすることができる！

※黄色を使用したことで夜間作業時に目立つという役割も発揮！

②【退避場所の支柱を黄色に！】



軌道内から退避する場所の支柱を黄色にすることで、目立つ！

※電車が来て、いざ退避！という際にすぐ退避場所が認識できる！

③【昇降階段・安全通路を緑に！】



昇降階段や安全通路を緑にすることで、通路が明確になる！

※通路なので、資材などは置いてはいけないと認識できる！